



# 音の楽園と形容される “ EACH STORY ～THE CAMP～ 2024 ” teaser trailer、タイムテーブル発表！総勢国内外20組のLIVEと4組のDJが集結！！

EACH STORYは、音楽と自然、そしてアートが融合する特別なフェスティバルです。舞台となるのは、標高1350mに位置する野辺山高原の五光牧場。10月のこの高原では、昼は夏の陽気、夕方には秋の気配、夜になると冬の冷気が漂い、一日の中で四季の移り変わりを感じられ場所です。

変わりゆく風景や空気に寄り添うように、その瞬間を輝かせるアーティストたちを世界各国から迎えます。

EACH STORYでは、五感に響く音楽と共に、訪れる人々に深く心に残る体験を届けます。LIVEやDJステージでは、時の流れとともに変わる風景と音がシンクロし、自然と音楽が一体となる特別な瞬間を味わえるようタイムテーブルを作成しました。

EACH STORYの魅力は、多様な楽しみ方にもあります。音楽に没頭する人、ハンモックで揺れながら耳を傾ける人、本を片手にのんびり過ごす人、友人たちと笑い合いながら楽しむ人、それぞれが自分のスタイルで自由に音楽を楽しめる場が広がっています。背後では子供たちが走り回り、犬が戯れる——そんな光景さえ、EACH STORYの一部として溶け込んでいます。

さらに、EACH STORYでは音楽だけでなく、こだわりのアートや食、そしてショップが一堂に集結します。地元の新鮮な食材を使った料理や、クラフト作品を手掛ける出店者たちが、訪れる人々にさらなる楽しみを提供します。それぞれのブースが個性を発揮し、音楽と共に心地よい空間を彩ります。

音楽、自然、アート、そして多彩な出店者たちと共に作り上げるEACH STORYは、まさに「音の楽園」です。

EACH STORY  
T A I M  
S T O R Y  
2 0 2 4  
T A B L E

EACH STORY

THE CAMP 2024

10.5.sat			10.6.sun		
LAKE STAGE	HILL STAGE	RIVER STAGE	LAKE STAGE	HILL STAGE	RIVER STAGE
	Shhhhh 11:00 - 12:00		Morning YOGA 7:00 - 8:00	Akira Ishii Morning YOGA DJ 7:00 - 8:30	
Chihei Harakeyama x hakobunc 12:00 - 13:00					
	- LIVE - DAIHO SOGA 13:00 - 14:00	- LIVE - Ishika 13:00 - 14:00	space opera symphony 8:30 - 9:30		
Mahito the PeopleZZZ - ambient set - 14:00 - 15:00				Masaaki Hara 9:30 - 10:30	H.Takahashi & Jesus Weekend 9:30 - 10:30
	原雅明 15:00 - 16:00	- LIVE - Julia Shortreed 15:00 - 16:00	Emily A. Sprague 10:30 - 11:30		
Thandi Ntuli 16:00 - 17:00				- LIVE - ermhoi 11:30 - 12:30	Lullatone 11:30 - 12:30
	- LIVE - Shin Sasakubo 17:00 - 18:00	space opera symphony 16:30 - 20:00	Passepartout Duo and Inoyama Land 12:30 - 13:30		
SUSO SAIZ 18:00 - 19:00				FACTA & K-LONE EXECUTIVE CHILL SET 13:30 - 15:00	QOA 13:30 - 14:30
	YAMA a.k.a sahib 19:00 - 20:00		Kafka's ibiki Koichi Makigami 15:00 - 16:00		
Henning Schmiedt 20:00 - 21:00				Shhhhh 16:00 - 17:00	Cool Maritime 16:00 - 17:00
		- LIVE - ASA TONE 21:00 - 22:00	arauchi yu ensemble 17:00 - 18:00		

CAMPSITE OPEN 9:00  
VENUE OPEN 11:00

CAMPSITE OPEN 8:00  
VENUE OPEN 6:30

**【Lake Stage】**

**Henning Schmiedt<DE> / SUSO SAIZ < ES > / Thandi Ntuli < ZA >  
Emily A. Sprague < US > / Passepartout Duo and Inoyama Land<IT&JP>  
カフカ麩 + 巻上公一 / arauchi yu ensemble / マヒトゥ・ザ・ピーZZZ ( ambient set )  
Chihei Hatakeyama x hakobune / space opera symphony**

**【Hill Stage】**

**笹久保伸 / ermhoi / 曾我大穂**

**-DJ-**

**FACTA & K-LONE (wisdom teeth ) < UK >  
Shhhhh / YAMA a.k.a sahib / 原雅明 / 石井亮**

**【River Stage】**

**ASA TONE<ID/US> / Cool Maritime < US > / QOA < US > / Lullatone  
H.Takahashi & Jesus Weekend / Julia Shortreed / Ishika**

**[dublab.jp](http://dublab.jp) pop-up studio)**

**[dublab.jp](http://dublab.jp) / KANKYO DOT / 尾島由郎 / HIKOKONAMI**

**【Morning YOGA】**

**YuKi Matsui / 石井亮 (Morning YOGA DJ )**

**【SOUND】**

**安藤 誠英 / パードン木村 / 田口音響研究所 / ACOUSTIC REVIVE**

**【LIGHTING】**

**HIKARI ASOBI CLUB**

**【ART】**

**EACH STORY Decoration Team / NOMOS / purveyors / Stretch Tent Company / Hammock 2000 / 大澤悠大 (VJ)**

**【SHOP】**

**Kankyo Records / 雨と休日 / MARKING RECORDS / Tobira Records / Slow Room  
2-3-4SHOKUDO / FARCRY BREWING / MANGOSTEEN/万珍醸造 / 無添加 中華蕎麦 つばめ  
PARADISE ALLEY / やまゆり / 苗目 / NUMB&HAZY / Full Moon Crepe みっくす  
AKITO COFFEE / アサマデパート / TOKYO KAN KAN / CALM AND RIDE  
Vernacular Sewn Storage / fragrance mona / アトリエヨクト / 小牧広平  
マル神農園 / toksen massage ogata / PARADISE BOOKS & SAUNA  
平芳堂 / kabna書店 / OJAS PURE RAW CHOCOLATE  
GRRRDEN / 文藝フルーツ / Tiny N**



## E A C H S T O R Y

美しいロケーションと心地よさを極めたサウンドデザイン。

世界基準でオリジナルな世界観を持つアーティストたち。全国から集まったこだわりの出店者。

空間を活かした日本で一番心地よく楽しめる野外リスニングフェスティバル。

舞台は、夜は満点の星が輝き、静けさに包まれる長野県野辺山高原。

標高1350mの森の中に広がる、緑豊かな五光牧場キャンプ場です。

目の前にそびえ立つ八ヶ岳の麓、白樺の森に囲まれた無農薬の芝生、清流の川。

演奏する音楽家たちの姿は、ステージの前に広がる美しい池の水面に揺らめき、音楽と混ざり合う。

この美しい場所で、五感全てを開き、日常を忘れ、心から安らぎと美しさを感じる、

大人のための2日間の集いをお届けします。

空間・食・音楽・時間・人・そこに存在するものがそれぞれ主役で、

その全てを通してそれぞれの物語が生まれる。

良質な音楽に身を任せ、自然の音に耳を澄ませ

丁寧に作られた物、感受性が豊かな人と出会い

心からのやすらぎとたのしきを感じる。

新しい価値観が芽生えるような大人のためのイベントです。

# EACH STORY 詳細

---

## 「EACH STORY ～THE CAMP～2024」

日時：2024年10月5日～6日

会場：五光牧場オートキャンプ場

住所：長野県南佐久郡川上村樋沢1417

時間：10月5日 11:00開場 ～ 10月6日 18:30終演

料金：2日通し券：前売20,000円（前売） / 1日券 大人 12,000円（前売）

### 出演者

LIVE : Passepartout Duo and Inoyama Land <IT&JP> / ASA TONE <US> / QAO <USA> / カフカ麩 + 巻上公一 / 曾我大穂

ermhoi / H.Takahashi & Jesus Weekend / hakobune

SUSO SAIZ <ES> / Emily A. Sprague <US> / Cool Maritime <US> / Chihei Hatakeyama / マヒトゥ・ザ・ピーZZZ ( ambient set )

DJ : YAMA a.k.a SAHIB / FACTA & K-LONE (wisdom teeth) <UK> / Shhhhh etc...

イベント詳細情報：<https://www.eachstory.net>

主催：EACH STORY実行委員会

---

# Henning Schmiedt



旧東ドイツ出身のピアニスト、作曲家、編曲家。早くからジャズ、クラシック、ワールドミュージックなどジャンルの壁を超えた活動を先駆的に展開。80年代中盤から90年代にかけて様々なジャズ・アンサンブルで活躍後、ギリシャにおける20世紀最大の作曲家と言われるMikis Theodorakis（ミキス・テオドラキス）から絶大な信頼を受け、長年にわたり音楽監督、編曲を務める。俳優 Katrin Sassやボイス・パフォーマー Lauren Newtonと共演した古典音楽のアレンジなど、そのプロデュース活動は多岐に渡り、ドイツ・ジャズ賞、ドイツ・ジャズ批評家賞を受賞。

ソロとしてもKurt Weilなど幾多の映画音楽やベルリン・シアターで上演されたカフカ『変身』の舞台音楽、2008年ベルリン放送局でドイツ終戦60周年を記念して放送された現代音楽『レクイエム』などを発表。ausとのプロジェクトHAU、Marie S ferianとのnous他、Christoph Berg、Tara Nome Doyleなどコラボレーション作品も多数。名指揮者クルト・マズアーも一目置くという個性的なアレンジメントやピアノ・スタイルは、各方面から高い評価を受けている。

FLAUよりリリースされたソロ・ピアノ作品がいずれもロングセラーを記録中。名作「Klavierraum」のレイシューにはMono Fontana、Terekkeがリミックスで参加している。最新作はコロナ禍に発表された「Piano Diary」「Piano Miniatures」。主な共演者にズルフ・リバネリ、チャールズ・ロイド、アル・ディ・メオラなど。

# SUSO SAIZ



アヴァンギャルドな音楽家、作曲家、プロデューサー。その音楽は、繊細なギターを駆使して想像力豊かな表現を生み出しており、独特の「催眠的」なサウンドが特徴的。その精力的な活動は、音楽だけでなく、造形芸術、演劇、映画、詩などの分野との相互関係を重視し、多岐にわたる。

これまでに20枚以上のアルバムをリリースしており、「Orquesta de las Nubes」「Suspended Memories」「Trash Of Dreams」の創設メンバーとしても知られる。

また100枚以上のレコードをプロデュースし、その一部としてJorge Reyes、Carles Santos、Steve Roach、Michael Brook、Diego Vasallo、Glen Velez、Stephan Micus、Jan Bang、Arve Henriksen、Guo Yue、Robert Rich、Hans-Joachim Roedelius、Wager Tiso、Salif Keita、Roger Wolfe、Gigi Masin、Suzanne Kraft、Christian Fennesz、Francisco López、Menhir、Rodrigo Leao、Michal Turtle、André Gonçalvesなど、数多くの著名なエレクトロニックおよびワールドミュージックのアーティストと共演およびコラボレーションを行っています。

# Thandi Ntuli



南アフリカのJAZZピアニスト、シンガーソングライター。自身のソロやコラボレーションのプロジェクトを通じて、Thandi Ntuliは多彩なサウンドとジャンルを行き来しながら、自分自身と私たちの存在を探求している。彼女のアプローチは、クラシック歌手だった叔母、アフロロックバンドHarariのメンバーだった叔父、そして1940年代のソフィアタウンで家族と共に音楽を楽しんだ祖父から受け継いだ伝統を誇りとしている。この伝統は今も続いている。16年間にわたるキャリアの中で、Thandiは自分自身や居場所を求める人々が自由に存在できる場を切り開き、現代の南アフリカ音楽シーンでの地位を確立した。彼女は自己や世界を率直で共感的に見つめ、その視点から生まれた作品は、私たちが歴史、現在、未来を感じ取れるようにしてくれる。特に若い南アフリカの女性たちにとって、Thandiは自分自身とコミュニティに帰るための象徴である。彼女は音楽に真摯に向き合い、その教えを正直に伝えることで、より深く自分を見つめ直すことができる。そのプロセスを共有することで、私たちも自分自身をより意味深く表現し、他者とつながる空間を作り出している。音楽はコミュニティであり、共に支え合う場なのだ。Thandiの作品は、私たちのすべてを正々堂々と受け入れ、共に祝うものである。

# Facta and K-LONE



FactaとK-LONEは、ロンドン（UK）出身のプロデューサー、DJ、マルチ・インストゥルメンタリストであり、エレクトロニック・レコード・レーベル、Wisdom Teethの共同設立者でもある。テクノ、ダブステップ、ガラージ、ハウス、ジャングルなど、彼らが育ったクラブサウンドと、アンビエント、ジャズ、ダブ、エクスペリメンタル・エレクトロニクスなど、より難解な影響を融合させながら、独自のサウンドを作り上げている。そのため彼らの音楽は、ダンス・ミュージックのグルーヴ、機能性、身体性と、さらに遠くから引き出されたより挑戦的なアイデア、明るくカラフルでメロディアスな要素と、操作されたノイズやピコピコ鳴るエレクトロニクスのレイヤーとのコントラストを典型的に融合させている。彼らの音楽は、AUS、Fabric、Houndstooth、Young、Incienso、Livvy Sound、Tempa、Idle Hands、Dr Bananaなど、世界で最も重要なレーベルからリリースされているほか、2014年に共同設立した自身のレーベルWisdom Teethからもリリースされている。このレーベルは、Salamanda、Tristan Arp、Jorg Kuning、Yushh、AYA (fka LOFT)、Leif、Nick León、Batu、Parris、Steevioなどの国際的なアーティストからコンテンポラリー・クラブ・ミュージック、エクスペリメンタル、アンビエント、ダウンテンポをリリースし、世界的に認知され、尊敬されるインプリントに成長した。Glastonbury、Freerotation、Love International、We Out Here、GALA、Bilbao BBK、Lost Village、Gottwoodなど、世界で最も愛されているフェスティバルに出演した。

# arauchi yu ensemble



荒内 佑

音楽家。バンド、ceroのメンバー。多くの楽曲で作曲も手がける。その他プロデュース、楽曲提供、Remixなども行っている。ソロ作に「Sisei」、ceroの最新作に「e o」がある。

<https://arauchiyu.com/>

荒内 佑 BAND SET MEMBER

Julia Shortreed (Vo)

大石俊太郎 (1st Reeds)

銘苅麻野 (Vn)

田島華乃 (Va)

関口将史 (Vc)

杉本 亮 (1st Pf)

荒内 佑 (2nd Pf, Sampler, Arr)

千葉広樹 (Ba, Electronics, Arr)

渡 健人 (Dr, Sampler)

# マヒトゥ・ザ・ピーZZZ ( ambient set )



2009年 バンドGEZANを大阪にて結成。作詞作曲をおこないボーカルとして音楽活動開始。インディーズの姿勢のままFUJI ROCK FESTIVALのGREEN STAGE、WHITE STAGE、RED MARQUEEに出演。うたを軸にしたソロでの活動の他に、青葉市子とのNUUAMMとして複数のアルバムを制作。国内外のアーティストをリリースするレーベル十三月を運営、全感覚祭を主催。2019年に小説、銀河で一番静かな革命を幻冬舎より出版。GEZANのドキュメンタリー映画 Tribe Called DiscordがSPACE SHOWER FILMにて公開。豊田利晃監督の劇映画「破壊の日」に出演。エッセイ「ひかりぼっち」がイーストプレスより発売。ユリイカ2023年4月号にて特集号の発売。荒井良二との共著絵本みんなたいぽをミシマ社より出版。劇映画i aiでは初監督、脚本、音楽を担当、PARCO配給にて全国上映中

# カフカ斝 + 卷上公一



## カフカ斝

ジム・オルーク (Synth, Guitar, Bass)、石橋英子  
(Piano, Flute, Electronics)、山本達久 (Drums)のトリオ。

## 卷上公一

音楽家、詩人、プロデューサー

1978年結成のヒカシューのリーダーとして作詞作曲はもちろん、声の音響やテルミン、口琴を使ったソロワークやコラボレーションを精力的に行っている。トゥバ共和国の喉歌ホームイは日本の第一人者として知られ、サウンドポエットによる演劇「チャクルパ」シリーズやJAZZ ART せんがわ、熱海未来音楽祭など多彩なプロデュースをしている。音楽アルバムはソロ、ヒカシュー含め多数。

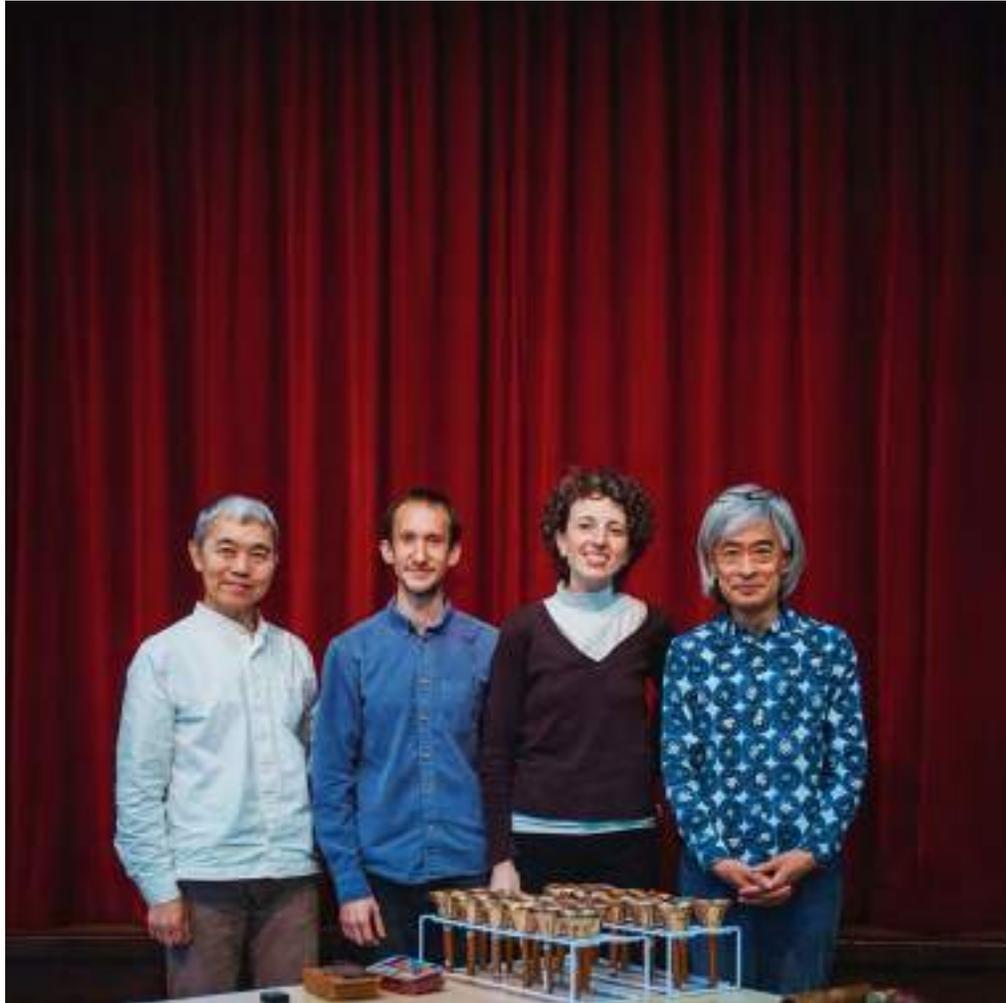
詩集『至高の妄想』で第一回大岡信賞を受賞。

最新アルバム ヒカシュー『雲をあやつる』2023年

ニューヨークのFoundation for Contemporary Arts の2024年アーティスト賞を受賞。

[www.makigami.com](http://www.makigami.com)

# Passepartout Duo and Inoyama Land



## INOYAMALAND (イノヤマランド)

1977年夏、井上誠 (key) と山下康(key)は巻上公一プロデュースの前衛劇の音楽制作現場で出会い、メロトロンとシンセサイザー主体の作品を制作する。この音楽ユニットは山下康によってヒカシューと名付けられた。同年秋、ヒカシューはエレクトロニクスと民族楽器の混在する即興演奏グループとして活動を始め、1978年秋には巻上公一(B.Vo)、海琳正道(G)らが参入、リズムボックスを使ったテクノポップ・バンドとして1979年にメジャーデビューする。1982年以降、井上と山下はヒカシューの活動と並行して2人のシンセサイザー・ユニット、イノヤマランドをスタート、翌1983年にはYMOの細野晴臣プロデュースによりALFA/YENより1stアルバム『DANZINDAN-POJIDON』がリリースされた。その後、二人は各地の博覧会、博物館、テーマパーク、大規模商業施設等の環境音楽の制作に携わる。1997年にCrescentより2ndアルバム『INOYAMALAND』、1998年にはTRANSONICより3rdアルバム『Music for Myxomycetes (変形菌のための音楽)』をリリースし、10数年振りにライブも行った。21世紀に入り1stアルバム他、各アイテムが海外のDJ、コレクターの間で高値で取引され、海外レーベルよりライセンスオファーが相次ぐなど、内外の再評価が高まる。2018年、デュオ結成のきっかけとなった1977年の前衛劇のオリジナル・サウンドトラック『COLLECTING NET』、3rdアルバム『Music for Myxomycetes [Deluxe Edition]』、1stアルバム『DANZINDAN-POJIDON [New Master Edition]』、2ndアルバム『INOYAMALAND [Remaster Edition]』、ライブアルバム『LIVE ARCHIVES 1978-1984 -SHOWA-』、『LIVE ARCHIVES 2001-2018 -HEISEI-』を連続リリース。中でも世界的に再評価されている『DANZINDAN-POJIDON』は、オリジナルマルチトラックテープを最新技術で再ミックスダウン、マスタリング、ジャケットもオリジナルとは別カットのポジを使用し、新たな仕様にした事が評価された。近年はアンビエントフェスのヘッドライナーを務めるなど、ライブ活動と共に海外展開も活発化。『DANZINDAN-POJIDON』をスイスのWRWTFWWから、委嘱曲のみのコンピレーションアルバム『Commissions:1977-2000』を米Empire of Signsからリリース、2019年には米Light in The Attic制作の、80年代の日本の環境音楽・アンビエントを選曲したコンピレーションアルバム『環境音楽 Kankyō Ongaku』にYMO、細野晴臣、芦川聡、吉村弘、久石譲等と並び選曲され、同アルバムがグラミー賞のヒストリカル部門にノミネートされ、更なる注目が集まる。2020年、22年振りとなる完全新作による4thアルバム『SWIVA』、翌2021年に5thアルバム『Trans Kunang』をリリース。リリースの前後にはクラブミュージックの世界的ストリーミング番組、BOILER ROOM、国際的に芸術文化活動を展開するMUTEK、ほかOFF-TONE、FRUE、FFKTといったフェスティバル、各種音楽イベントへの出演を継続。最新作は2023年12月リリースの『Revisited』(Collecting Net/ExT Recordings)。

## Passepartout Duo (パスパルトゥー・デュオ)

ニコレッタ・ファヴァリ (イタリア) とクリストファー・サルヴィト (イタリア/アメリカ) によって結成され、エレクトロ・アコースティックのテクスチャーと変幻自在のリズムから厳選されたパレットを作り上げるデュオ。2015年から世界を旅して「スローミュージック」と呼ぶ創造的な楽曲を発表している。アナログ電子回路や従来のパーカッションを使って小さなテキスタイル・インスタレーションからファウンド・オブジェまで様々な手作り楽器を駆使して専門的かつ進化するエコシステムを開発し続ける。著名なアーティスト・レジデンスのゲストや文化スペースでのライブ・パフォーマンスなどカテゴライズされる事なく活動。ウォーターミル・センター (米国)、スウォッチ・アート・ピース・ホテル (中国)、ロジャース・アート・ロフト (米国)、外国人芸術家大使館 (スイス) など世界各地で数多くのアーティスト・レジデンスの機会を得ている。また2023年には中之条ビエンナーレに参加し、4月には"Daisy Holiday! 細野晴臣"に出演。2024年には"ゆいぽーと"のアーティスト・イン・レジデンスとして来日し東北・北海道を訪れています。

# Asa Tone



かつてはバンド形態のYoung Magic、現在はMelati ESP名義でのソロ作をCarpark Recordsからリリースし、ニューヨークと故郷ジャカルタを股にかけ活動しているMelati Malayと、100% silkからリリースしている匿名プロジェクトKaazi、そしてNYのThe Lot RadioではレジデントDJをつとめ、Human Pitchの創始者でもあり、Wisdom Teethからリリースしたファースト・アルバムも高い評価を得た、マルチメディア・アーティスト、Tristan Arpにより結成されたプログレッシブ・パーカッション・トリオ。

2019年Melatiがジャカルタに帰省する際に集合し、10日間かけてジャングルの仮設スタジオでセッションをしていき、ファースト・アルバム『Temporary Music』を完成させ2020年にLeaving Recordsからリリースした。特有の綿密にレイヤードされた立体的でサイケデリックな音像と、シンプルながらトライバルなリズムや心地よいアンビエンスが融合。ガムラン〜アンビエント〜ミニマル〜テクノ〜ニュー・エイジを横断していくようなサウンドはここ日本でもジャンルの垣根を超えて注目を集め、ミュージック・マガジン誌の「ベスト・アルバム2020」のエレクトロニック・ミュージックで4位にランクインするなど、いまだロングセラーとなっている。2021年にはバンクーバーの『New Forms Festival』のためにYu Suから依頼を受け、コロナ禍で封鎖・隔離状況にある中制作した、リモート・デジタル・32チャンネル・パフォーマンスのステレオ・ドキュメント『Live at New Forms』を再びLeaving Recordsからリリースした。コロナ禍により偶発的に生み出された傑作としてこちらもロングセラーとなっている。2023年には初来日を果たし、盟友Salamandaと共に東阪で公演を行った。そして今年にはエリカ・バドゥのバリ島での公演のサポート・アクトを務めるなど精力的に活動を行なっている。

# Emily A. Sprague



エミリーは、ニューヨーク州北部のカータースキル・クローヴで生まれ育ち、現在もそこに住む音楽家である。幼少期に母の教えでピアノを始める。11歳の頃からギター・レッスンを受け始めたものの、一旦やめてしまうが、14歳の時に再びギターを弾き始め、本格的にソング・ライティングに興味を持つ。その後バンドFloristを結成し、2013年に6曲入りEP『We Have Been This Way Forever』でデビュー。もう一枚の自主制作EPを経て、Double Double Whammyと契約し、2015年にリリースしたEP『Holdly』でStereogumの「50 Best New Bands Of 2015」に選出される。2016年に『The Birds Outside Sang』、2017年に『If Blue Could Be Happiness』の2作のアルバムを発表、さらに2019年には最新作『Emily Alone』をリリースし、PitchforkでBEST NEW ALBUMを獲得し、インディ・ミュージック・リスナーから多くの支持を受ける。その活動と並行し、Emilyはモジュラー・シンセサイザーを用いたアンビエント・ミュージックの制作を開始しセルフ・リリースした『Water Memory』、「Mount Vision」が高い評価を得る。その才能に着目したNYの最先鋭レーベルRVNGよりリマスター、ボーナス・トラックを追加してフィジカル化（CD/LP）し、PitchforkにてBEST NEW REISSUEを獲得。2020年には初来日が企画されたものの、惜しくもコロナ禍により延期を余儀なくされる。そして同年現時点での最新アルバムである『Hill, Flower, Fog』をリリース。彗星のようなキラキラとした音色からオルゴールのような牧歌的なフレーズまでが滑らかなリヴァーブで彩るアンビエントを展開し、アンビエント・ミュージシャンとしての認知度をさらに高めた。そして2022年にはFloristとしての新作にしてセიმ・タイトル・アルバム『Florist』をリリース。Pitchforkで8.5点の高得点でBest New Musicを獲得するなど、今最も注目されているミュージシャンの1人である。エミリーの作品は、万物のつながりに関するもので、地上の活動や人間との接触を導く神秘的な力に、生きた核となる形を与えている。記憶と視覚、海と山、問いと答え、感情と無限大。そして陽光、トカゲ、海の塩。

# chihei hatakeyama



1978年生まれ、神奈川県出身、東京在住の電子音楽家。2006年にKrankyより1stソロ・アルバム『Minima Moralia』を発表。以降、デジタル&アナログ機材を駆使したサウンドで構築するアンビエント・ドローン作品を世界中のレーベルからリリース。そのサウンドはリスナー個々人の記憶を呼び覚まし、それぞれの内的なストーリーを喚起させる。2013年より音楽レーベル『white Paddy Mountain』を主宰。2023年には音楽を担当した映画『ライフ・イズ・クライミング！』が公開。近年は海外ツアーにも力を入れており、2022年には全米15箇所にあつUS Tourを敢行した。またマスタリングエンジニアとしても活躍中。

# Hakobune



兵庫県の音楽家。  
2007年よりhakobune名義で活動を開始し、これまでに68作のフルアルバムを各国のレーベルから発表している。

<http://hakobunemusic.jp/>

# Shin Sasakubo | 笹久保 伸



秩父出身のギタリスト。2004年～2008年ペルーに在住し人間国宝Raul Garcia Zarateを始めとする伝説的ギタリストたちに師事しながらアンデス農村で民族音楽採集・研究をおこなう。

現代音楽とアンデス音楽を弾くギタリストとしてイタリア、ギリシャ、ブルガリア、キューバ、アルゼンチン、チリ、ボリビア、ペルーで公演。

2009年から地元秩父でアートコレクティブ「秩父前衛派」という名義で現代アート（写真、美術、映画）の制作活動をおこないながら秩父で民俗学的な調査をおこない、

作品は金沢21世紀美術館、市原湖畔美術館、瀬戸内国際芸術祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭などで発表。

これまでに東京藝術大学、多摩美術大学、早稲田大学、京都外国語大学、立教大学、立命館大学、青山女子短期大学、東京医科歯科大学、和光大学、国立民族学博物館などで特別講義・公演をおこなう。

2017年以降はヤマンドゥ・コスタ/サム・ゲンデル/ノエル・アクショテ/ジャメル・ディーン/ジョアナ・ケイロス/モニカ・サルマーゾ/アントニオ・ロウレイロ/フレデリコ・エリオドロ/ガブリエル・ブルース/ディアンジェロ・シルバ/フロレンシア・ルイス/ファビアーノ・ド・ナシメント/カルロス・ニーニョなどと共作・共演をしてきた。

2024年現在までに40作のアルバムをLP、CD、カセットテープでリリース。

# 曾我大穂



曾我大穂(仕立て屋のサーカス主宰)

音楽家。多楽器奏者。舞台演出家。  
ハーモニカ、フルート、カヴァキーニョ、鍵盤楽器、テープレコーダ、トイ楽器など音の出るあらゆるものを使った即興の演奏を得意とする。

1999年、沖縄にてジャムバンド“CINEMA dub MONKS”を結成、バルセロナやベルリン、ニューヨークなど世界各地で活動する。

2014年に舞台芸術グループ「仕立て屋のサーカス」を結成。基本設計を手がけるとともに、全公演で演出・出演を行っている。「アートの社会実装」を掲げ、歴史学者、文化人類学者、映画監督、地方自治体、出版社、美術館といった多彩なパートナーと共に作り上げるそのパフォーマンスは、劇場を飛び越え、教育分野や地域コミュニティへと広がっている。

# Cool Maritime



Cool Maritimeは現在は太平洋岸北西部の島を拠点に活動しているエレクトロニック・ミュージシャン兼ヴィジュアル・アーティストのSean Hellfritschによるソロ・プロジェクト。吉村弘のような日本のアンビエント・コンポーザーや、『MYST』などのコンピューター・ゲームのサウンドトラックからインスピレーションを得て、みずみずしく魅力的なサウンドスケープを制作している。サンタクルーズの郊外で育った後、家族と共にカリフォルニア州のレッドウッドの森近くの峡谷に引っ越した彼は、そこで豊かな自然に触れることができ、それが今日においても彼の音楽的および視覚的作品に大きな影響を与えているのだという。Daren Rabinovitch、Isaiah Saxon等と共に、映画とアニメーションの制作スタジオ、Encyclopedia Picturaを設立し、Björk、Panda Bear、Grizzly Bearなどのミュージック・ビデオを監督し、Kanye Westの未発表のビデオ・ゲーム『ONLY ONE』にも取り組んだ。彼はまた、妻であり、Buchlaのアナログ・シンセサイザー愛好家のKaitlyn Aurelia Smithによるリリースのヴィジュアルも担当している。Cool Maritimeとしてはファースト・アルバム『Tea Time Travel』を2012年に自主制作にて発表。そしてMatthew David主宰の西海岸の最重要レーベル、Leaving Recordsと契約し、セカンド・アルバム『Some Sort of Wave Portal』を2016年に、サード・アルバム『Sharing Waves』を2018年にリリース。早耳のリスナー達から極めて高い評価を得て、西海岸モジュラー・シンセ・ウェイヴのムーヴメントにおいて、最注目存在となる。2022年には名門Western Vinylから最新アルバム『Big Earth Energy』を発表。「ランチボックス」モジュラーシステムを含むノマドスタジオを使い、刺激的で人里離れた屋外で録音するという彼の実践によって、ショーンの音楽には絶え間ない冒険心と興奮が焼き付けられている。Cool Maritimeは、畏敬の念、幸福感、ひらめきの瞬間をとらえた音楽的アイデアの統合である。サウンドは主にエレクトロニックで、フィーリングはオーガニック、アレンジは瑞々しく、オープンエアーを優雅に呼吸し、胸をなでおろすような感覚のものである。鋭い生態学的前提とサイケデリックな魅力のひねりを加えた架空のビデオ・ゲームのサウンドトラックのようなサウンドを紡ぎ、アナログ・シンセの即興演奏を、華麗に着飾った洗練されたメロディック・アレンジに置き換えたアプローチでさらなる高い評価を得ている。

# ermhoi



日本とアイルランド双方にルーツを持ち、ジャンルを縦横無尽に行き交うトラックメイカー／シンガー。1st Album『Junior Refugee』を2015年にSalvaged Tapesからリリース。その活動は映画やTVCMへの楽曲提供とリミックスのみならず、ボーカルやシンセ、コーラスとしてのサポートなど多岐に渡る。これまで石若駿（Answer to Remember、CRCK/LCKS、SMTK）や常田大希（King Gnu, millennium parade）、江崎文武（WONK）ら日本を代表する同世代の音楽家たちと共作するだけでなく、石橋英子やJim O'Rourke、Phew、Codeineといった世界的に著名な音楽家たちとも共演。さらにMONDO GROSSOや東京塩麴、Sen Morimoto、Maika Loubtéの作品に客演として抜擢されるなど、国内外で活躍するアーティストたちと交流を重ねてきた。2018年には小林うてな、julia shortreedと共にblack boboiを結成し、「FUJI ROCK FESTIVAL '19」のレッドマーキーや、2023年にはMutek.JPにも出演。2019年から常田大希が率いるMillennium Paradeにも参加した。ermhoiのバンド編成プロジェクト ermhoi with the Attention Pleaseでは主なメンバーに小林うてな、石若駿、Marty Holoubek、Taikimenを迎え、エレクトロで作られた音楽を生楽器で再構築している。現在、最新作のJunebug Rhapsodyの配信・LPがリリースされている。

# Julia Shortreed



日本とカナダをルーツに持ち、東京を拠点に活動するSSW、サウンドアーティスト。

アシッドフォーク、アンビエント、エレクトロを融合させ、ノスタルジックな音と声で紡ぎ出す独自の世界。2018年に小林うてな、ermhoiと結成したユニットBlack Boboiで、今までに『Agate』『SILK』をリリース。

ソロでは、2021年1月1st アルバム『Violet Sun』を発表。翌年品川教会にて、リリースライブを成功させる。CM、映画へ歌唱、楽曲提供の他、cero荒内祐のソロアルバム「Sisei」に作詞、歌唱でも参加。ベルリン在住アーティスト Rosa Anschützとのユニット'Quantum Orange'として2024年7月に1st EP『DIP-DYE』をリリース。

Instagram

<https://www.instagram.com/juliashortreed/>

Youtube :

[https://youtu.be/bcCT1UhV\\_dY?feature=shared](https://youtu.be/bcCT1UhV_dY?feature=shared)

# Q O A



私たちの周りの空気を占有し、移動し、横断する振動的存在としての音の物質性に焦点を当てている。それらは、拡大されたりスニングの身体体験を生み出す。そのサウンドは、ミニマルな周波数、自然環境を加工したフィールド・レコーディング、石や枝のような音響オブジェクトのライブ・サンプリング、話し言葉、シンセシス、リズムカルなスペクトルの畳み掛けなど多岐にわたり、浮遊する時間に没入するよう誘う拡張されたりスニング体験を生み出している。

前作 "Sauco "は、ロサンゼルスレーベルLeaving Recordsから今月リリースされ、Resident AdvisorやThe Guardianのコンテンポラリーアルバム・オブ・ザ・マンスに選ばれるなど、高い評価を得ている。Qoaは、Mutekとブリティッシュ・カウンシルの支援を受けた、アルゼンチン、カナダ、ペルー、イギリスのアーティストによる国際ネットワーク、AMPLIFY Digital Arts Initiative (Amplify D.A.I.)の一員である。今年、彼らはニコラス・ジャールのラドリドス・プロジェクトに選ばれた8人目のラテンアメリカ人アーティストの一人である。

MUTEKアルゼンチン、サンフランシスコ、日本、Domo Llano (コロンビア)、CCK (アルゼンチン)、Planetario (アルゼンチン) など、様々なフェスティバルに出演。QOAは様々なレーベル (Aural Canyon、Krut Records、Fluere Tapes、Leaving Records) から音楽をリリースしている。

また、Oi Futuro Museum (ブラジル)、Andreani Foundation、Bielal SUR、MACRO Museum (アルゼンチン)、Agora Collective (ベルリン)、Flux Factory (アメリカ・ニューヨーク) などでインスタレーションを発表している。

# Lullatone



多数の小型シンセサイザーとロボットドラムを使用したLullatone のライブセットは、色々な音を再現するために作られた小さな実験室のようです。多くのインタラクティブな要素が組み合わさって、アルバムのアンビエントな雰囲気よりもはるかに遊び心のあるライブを展開します。Lullatoneは15枚のアルバムと数百万回のストリーミングの他に、多くの映画やビデオプロジェクトの音楽とサウンドデザインも作曲しました。

-----  
Using a lot of small synthesizers and robotic drums, Lullatone's live set looks like a little laboratory built to recreate the intricate tones from the albums. Many interactive elements come together to make something much more playful than the ambient atmosphere of the records. Aside from 15 albums and millions of streams on Spotify, Lullatone has also composed music and sound design for so many films and video projects.

Instagram : [Instagram www.instagram.com/lullatone/](https://www.instagram.com/lullatone/)  
Spotify : <https://open.spotify.com/artist/3h100hRILZ7QDz8GRt5QsD>  
YouTube : <https://www.youtube.com/user/lullashawn>  
Website : <http://www.lullatone.com/>



## H.Takahashi & Jesus Weekend

H.Takahashi

東京を拠点とする作曲家、建築家でありレコード・ストア【Kankyo Records】のオーナー。アンビエント作家としてUKの【Where To Now?】、USの【Not Not Fun】、ベルギーの【Dauw】や【Aguirre】、日本の【White Paddy Mountain】といったレーベルからアンビエント作品をリリース。また、“やけのはら”、“P-RUFF”、“Yudai Osawa との ライブ ユニッ ト”UNKNOWN ME”や”Atoris”としても活動。2024年からは、Atorisでも共に活動する”Kohei Oyamada”とのユニット”H TO O”として活動を開始、デビューアルバム『Cycle』がUK【Wisdom Teeth】よりリリース。

Jesus Weekend

日本の女性音楽家Jesus WeekendことSeira Nishigami。2021年に発表したデビューEP『Rudra no Namida』は、カルト的な人気を誇り1st、2ndプレス共に即完売した。更に今年3月には三軒茶屋のレコードショップ「Kankyō Records」がレーベル第一弾として発表したインセンスオイルと音楽をセットにしたプロダクト“Sound Incense & Incense Sound”に参加したアルバム“Murmurs”がリリースされ話題を呼んでいる。



# space opera symphony



EACH STORY恒例のアンビエント楽団

生きとし生けるもの、様々な菌や植物の生体信号を  
nowheremachineを使い  
音に変換して人間と一緒に演奏する実験的な試み。  
会期宙は魂魄徒(コンパクト)神社からFM電波に乗せて菌と植物  
の音を飛ばしているの  
ラジオを持参して頂けると更に楽しめると思います。

毎年サプライズを演出してくれるCOMPACT神社。さらに今年  
は“Space Opera Symphonie”としても出演。COMPACT神社  
にて、パン生地を使い、御神体となる菌をその場にいる皆さん  
から集め、集めた菌を電子音にし、  
そのメロディーに合わせて演者が音を重ねていく宇宙のシン  
フォニー。  
ここでは全員が共演者です。その演奏はFMラジオにのせて会場  
内で放送します。より一層のお楽しむために、ぜひラジオをを  
お持ちください。  
ラジオの詳細は当日COMPACT 神社で発表いたします。まかさ  
の出演者が追加になる可能性もありますので、ぜひお楽しみ  
に！！

# 【 dublab.jp Pop-up Studio 】



今年で開局25周年をむかえるアメリカ・ロサンゼルスインターネットラジオステーション「dublab」の日本ブランチの「dublab.jp」が、EACH STORYに特設ブースでコラボレーションします。

出演する数組のアーティストをゲストに招いた公開収録を実施。ここでしか聴けないインタビューを世界中のリスナーに向けて発信します。

また、近年、世界的に再評価されている日本の環境音楽。このシーンを牽引してきたアーティスト・尾島由郎氏と共同開発するサウンドインスタレーション「KANKYO DOT」を初展示します。TAGUCHI製の高品質な無指向性スピーカーと半永久的に新しい音楽を構築するシステム「AISO」をベースに開発され、サウンドは尾島由郎氏が柴野さつき氏、ポートランドを拠点に活動するVisible Cloaksのコラボレーション作

「serenitatem」(RVNG Intl.)の楽曲を分解、再構築し続けます。加えて、マッチを擦るように火をつけて手軽に使えるお香スティック「hibi」のサポートのもと、自然のアロマで満たされた空間の中で、環境音楽の世界に没入する新しいリスニング体験を提供します。HIKOKONAMIによるサウンドバス体験も実施。ぜひお立ち寄りください。

# S h h h h h



DJ/東京出身。オリジナルなワールドミュージック/伝統  
伝承の発掘活動。フロアでは民族音楽から最新の電子音  
楽全般を操るフリースタイル・グルーブを発明。執筆活  
動やジャンルを跨いだ海外アーティストとの共演や招聘  
活動のサポート。2018年秋よりベトナムはホーチミンの  
クラブ、The ObservatoryのレジデントDJに就任。ミヤ  
ンマー伝統音楽のリミックス盤『Kalab Mixed Myanmar  
#1』(Rollers)のキュレーション。Worldwide FM、NTS  
へのmix提供など。Rainbow Disco Club 2022、  
Mindgames presents Balanceへの出演。野外リスニン  
グイベント、EACH STORYのキュレーションも担当。

[https://www.instagram.com/shhhhh\\_kaneko/](https://www.instagram.com/shhhhh_kaneko/)

<https://soundcloud.com/shhhhhsunhouse>

<https://jp.residentadvisor.net/dj/shhhhh>

# 原 雅明 / Masaaki Hara



音楽に関する執筆活動の傍ら、レーベルringsのプロデューサーとしてレイ・ハラカミの再発などに携わる。LA発の非営利ネットラジオdublabbの日本ボランチの設立に関わり、環境音楽等のプロジェクトやワークショップの企画立案、DJや選曲も手掛ける。早稲田大学非常勤講師。著書『Jazz Thing ジャズという何か』ほか。

<https://linktr.ee/masaakihara>

# YAMA a.k.a SAHIB



1983年、イギリスでクラブ文化に触れ、DJ活動開始。1989年にDJユニットJAZZBROTHERSを結成し、クラブ青山blueのプロデュースに参加。1998年にはハンブルグ・ジャズ・フェスティバルで近藤等則と共演。1999年にはユニットFREEMANを立ち上げ、レーベルAUDIO SUTRAを設立。楽曲 "MY DEAR MASTERS" がフランスの[GeorgeV]からリリースされ、世界的な評価を受ける。2000年にはインドの"世界聖なる音楽祭"に出演。その後も幅広いミュージシャンと共演し、多様な音楽活動が続ける。2006年にはスヌーピー展の音楽を担当。2014年にはHot Buttered Recordレーベルをスタートし、新たな才能を発掘。同年にはHot Buttered Clubを渋谷にオープン。2017年には渋谷BAR LSDをプロデュース。2018年にはアルバム "風流" をFree Electro名義でリリース。

<https://twitter.com/audiosutrasound>  
<https://www.instagram.com/yamaakasahib/>

## 過去の開催



### E A C H S T O R Y

THE CAMP 2023

2023.9.30 sat - 10.1 sun

五光牧場オートキャンプ場



### EACH STORY ~THE CAMP~ 2023

2023 9.30~10.1

五光牧場オートキャンプ場

<LIVE>

Banksia Trio ( JP )

Black Boboi ( JP )

East Forest & Peter Broderick (US)

Fabiano do Nascimento (BR)

Green-House (US)

H.Takahashi (JP)

ハチスノイト(UK)

Matthewdavid (US)

カフカ斲 (JP)

The Vernon Spring (UK)

222 guest 太田美帆 (JP)

< space opera symphony >

マイケルフランク(生意気)、デビッドデュバルスミス(生意気)

CUZ23(タートルアイランド)、EROCHEMIST、GRGR family

海老原セイジ、勝見淳平

with manyothers

<DJ>

Shhhhh

原雅明

YAMA a.k.a SAHIB

<COMPACT DISCO>

Mikey Varot / コスガツヨシ / Afro

EACH STORY

THE CAMP 2022

2022.10.1 sat - 2 sun

五光牧場オートキャンプ場

LIVE  
Devendra Banhart & Noah Georgeson & Gyan Riley / OLAibi + KOM\_I  
HIMI / Emily A. Sprague (from USA) / Cool Maritime (from USA)  
hihei hatakeyama × 石若駿 / 阿部海太郎 + 武田カオリ / 石橋英子 BAND SET  
江崎文武 + ermhoi / GABBY & LOPEZ / jan and naomi  
DJ  
Shhhhh / YAMA a.k.a Sahib / 原 雅明  
COMPACT DISCO DJ  
コスガツヨシ / Afro a.k.a core / H.Takahashi / hakobune / 濱田大介 / Mr.RESORT  
PARADISEJAM COMPACTDJ



EACH STORY ~THE CAMP~ 2022

2022 9.30~10月1日

五光牧場オートキャンプ場

<LIVE>

Devendra Banhart & Noah Georgeson & Gyan Riley

OLAibi + KOM\_I

HIMI

Emily A.Sprague ( from USA )

Cool Maritime ( from USA )

hihei hatakeyama × 石若駿

阿部海太郎 + 武田カオリ

石橋英子 BAND SET

江崎文武 + ermhoi

GABBY & LOPEZ

jan and naomi

<DJ>

Shhhhh / YAMA a.k.a Sahib / 原 雅明

<COMPACT DISCO DJ>

コスガツヨシ / Afro a.k.a core / H.Takahashi / hakobune / 濱田大介 / Mr.RESORT







EACH STORY ~THE CAMP~ 2021

2021 9.25~26

五光牧場オートキャンプ場

<LIVE>

ジム・オルーク + 石橋英子

OLAibi

キセル

角銅真実

カテリーナ古楽合奏団

トウヤマタケオ

Masayoshi Fujita

ermhoi

グッドラックヘイワ

<DJ>

shhhhh

YAMA a.k.a sahib

コスガツヨシ

Mikey Varot

DJAfro a.k.a core

FORIE



